



# 碧南ロータリークラブ週報

第2579回例会 平成24年1月25日(水)

● 会長 石川 春久 ● 幹事 平岩 辰之 ● 会場監督 (SAA) 新美 惣英

2011-2012年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 鈴木健三・菅原 優・永坂誠司・鈴木宏枝



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

## ● 齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## 会 長 挨拶



石川春久会長

本日は新入会員のお二人の話を楽しみにやってきました。

さて「ゲン」というものはやはりありまして、奥田年度、そして私の年度に招いたゲストは現在大活躍しております。

まず2月5日 NHKに山内恵介出演、3月28日、29日岐阜県のさくらCCでディナーショー開催、4月8日大沢桃子新曲発表、5月9日名鉄ホールで山内恵介新曲発表 続いて8月19日にサマーディナーショーに出演予定であります。ディナーショーに行かれても先日のようなことはまずありませんから私のお勧めはコンサートでございます。

98%が女性客でございますが、ぜひ行っていただいております。

## 副 幹 事 報 告

- ・ 例会変更等は幹事報告書の通りです
- ・ 2月1日例会終了後、第8回理事会を開催いたします



木村副幹事

## 委 員 会 報 告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者14名の内出席者10名)出席者59名

出席対象者 59/66名

出席率 89.39%

欠席者12名(病欠者1名)

前々回修正出席率 98.53%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

新美 雅浩君

碧南警察署長より感謝状を頂きました。

杉浦 栄次君

1月22日(日)消防団の団長点検で、中部電力碧南火力発電所を見学させて頂きました。栗山所長様を始め、中部電力の皆様大変お世話になりました。ありがとうございました。

鈴木きよみ君 先日は義母恵美子の葬儀にお忙しいところお参りありがとうございました。  
鈴木 泰博君 本日卓話をさせていただきます。よろしくお願ひします。  
奥津 順司君 本日の卓話、機会を頂きありがとうございます。

## 卓 話 「私の履歴書」

碧南RC会員 鈴木 泰博君

クロタ精工の鈴木です。

本日は皆さまの前でお話しさせていただく機会をいただき大変感謝しております。仕事は鑄造用の中子を作っています。鑄物の空間部分を作るため砂に樹脂をコーティングした材料を使用して熱で固めた製品を作っています。



鈴木泰博君

私は、1958年（昭和33年）生まれの53歳で、双子座、O型、戌年です。自宅は碧南市浜寺町で西方寺さまの西側になります。道幅が非常に狭い漁師町でしたが、最近はてらまちウォークのおかげで道も整備され、休日にはウォーキングなどしている人も見かける静かなところではあります。

私の名前を覚えていただくのに、20年ほど前は第70代71代の内閣総理大臣鈴木善行と中曽根康弘を合わせたズスキヤスヒロですとよく使いましたが、今ではあまり理解してもらえません。小学生のころはソフトボールなどを得意としていましたが肥満児で走ることは苦手でした。中学も文化系のクラブで、高校から柔道を始めスポーツをするようになり、会員の長田様のお父様に指導受けてこともあります。大学のころはあまり上手ではなかったですがテニスやスキーをしていました。硬式テニスのはじめの頃で兄と組んで市民大会などに出ていました。その当時のウェアはフィラやエレッセなどでイタリアからの輸入品しかなく、碧南で最初にフィラを着た男だと自負しています。今はゴルフと友人に誘ってもらってですが年に1、2度ジェットスキーに乗ります。バイクの免許は持っていないので風を感じて走る経験がなかったのですが、平成13年に船舶免許を取り海で風を感じて走っています。残念ながら去年は友人と休日が合わず乗ることができませんでした。今年は何とか乗りたいと思っています。家族は妻と子供2人の4人です。子供は23歳と19歳の息子で、二人とも学生です。長男は静岡にいますので3人で暮らしていますが、後1年ほどすると次男も家を出ていくので妻と2人で何を話せばいいのか不安を感じています。

父親と兄について少しお話をします。父は鈴木春男で弊社の相談役をしています。今年85歳になります。中学くらいまでは威圧感がある父親のことを大変怖いと感じていましたが、高校生くらいから普通に話ができるようになりました。以前父はAAKK（安全運転管理協議会）会長を受けていたため、私も25歳くらいから交通のボランティアを続けています。今でも父親とはたまに名古屋に買い物や食事に行き、いまだに脛をかじっている状態です。兄は皆さまにも大変お世話になりました鈴木輝彦です。年が4歳離れていましたので、よくいじめられました。いろいろな所へ連れて行ってもらいました。私が中学3年の時、岡崎で荒井由実（松任谷由実）のコンサートがあり、連れて行ってもらったことは大変感謝しています。食べ物や飲み物についてもかなりの影響を受けました。その兄も3年前に他界し兄弟がいなくなりました。

これから私の好きなワインの話させていただきます。お話する内容に多少時間的なずれがありますがよろしくお願ひいたします。40歳ごろにお医者様から尿酸値（？）が高いのでビールを控えたほうがいいですよと言われ、何を飲もうか考えました。焼酎にしようかワインにしようか迷ってワインにしました。ただし、私の場合は一般的なお酒なら何でも好きでウイスキー、紹興酒、焼酎、マッコリ、ビールなど全て飲みます。嫌いではないですが日本酒だけは酔いが早いため少し控えています。ワインを選んだ理由は知っていると少し恰好がいいかなということと、お

酒の中では珍しくアルカリ飲料であることです。また、食べることも好きなので、唯一口の中に食材を入れた状態で飲めるお酒であることも選んだ理由の一つです。

最初は千数百円のイタリアワインを飲んでいましたが、ある時、家庭画報（婦人画報）でフランスの5大シャトウの特集があり、その一週間後にこのワインを買うことになりました。これは、フランスのポイヤック地方のシャトー・ムートン・ロートシルトと言うワインです。ラベルは毎年有名な画家の絵を使用しています。このボトルを見た時、ラベルの少女が家に連れて行ってくださいと言っているようで思わず買ってしまいました。ちなみにアメリカではこの絵に問題ありということでムートンの1993年は白紙のラベルが付いていたそうです。このボトルをしばらく新聞紙に包んで押し入れに入れていたのですが、何か可哀想な気がしてワインセラーを買い、中に入れました。ただ、ボトルが見えないのが何となく嫌で前のセラーを軽トラックに積み本家に持って行き、扉がガラスのセラーに買い換えました。その時は、さすがに妻に怒られ家出をされました。3時間ほどで戻って来たのですが、確かに入れ物が欲しい訳ではなくセラーを買えば中身のワインが欲しくなることが分かっていたので家出みたいでした。

その頃はワインの本もよく見ていて、ワインが好きですよと話をするといろいろな人がワインの事を教えてくれました。特に半田のベルさんでは、たまたま母親と同じ名前のワイン好きなウェイトレス（フロアー）さんに出会いフランスボルドーとブルゴーニュのワインについて教えてもらいました。ボルドーワインの瓶の形とかブドウを何種類かブレンドして作り生産量が多い事、ブルゴーニュワインの瓶の形や単一ブドウで作るため同じ銘柄では生産量が少なくリピートが難しいことなどを聞きました。その女性は後にソムリエの資格を取ったそうです。また、ベルの息子様にも同様に教えていただきました。当時、ボルドーとブルゴーニュの両方のワインを飲めるとよかったのですが、ブルゴーニュワインは名前を覚えるのが難しく、最高峰がロマネコンティでとても飲むことはできないと考えて、ボルドーのワインを飲むようにしていました。ちなみにボルドーの最高峰は失楽園に出てきたペトリュスだそうです。

2005年のころゴルフがあまりにも下手で亀崎STゴルフレッスンに通うようになりました。数年前に卓話に来たことがある間淵さんに出会ったのです。鈴木さんの趣味は何ですかと聞かれワインですと答えると、私の生徒さんでワインのとても好きな人がいますと言われ、レッスンでお会いして名刺を交換しました。その方は阿久比の歯医者様の奥様で柳園さんです。その時たまたまネットで検索し、柳園さんが2003年ワインエキスパートの日本チャンピオンであることを知り驚きました。ワインエキスパートはプロのソムリエではなくアマチャですが、資格を取るのはかなり難しくソムリエに近い資格です。

柳園様との出会いでいろんなワイン会に参加するようになりました。最初に半田のジャスミンという中華料理店のワイン会でした。オーナーシェフはその当時ソムリエで今はシニアソムリエです。その後、名古屋のワイン会など人数合わせだったかもしれませんが声がかかり参加させていただき、いろんな人に出会うことができました。そこでソムリエの素晴らしさも見せていただきました。伊藤寿彦様というソムリエの事は今でも覚えています。あの頃は、ビオワインと呼ばれる無農薬ワインが流行っていて若手のソムリエがそのワインを非常に高く評価していたのですが、私は口に含んだ時のいがかい感じがどうも好きになれずその事を話していて、一旦会話が途切れ20、30分後で落ち着いた雰囲気の中で答えてくれました。10人ぐらいのテーブルでのことです。また、名古屋のワインバーのソムリエからは、ボルドーのワインしか飲みませんと思われる言い方をしていると折角おいしいワインと出会う機会を失いますよと言われたこともあり、それからはいろいろなワインを飲むようにしています。

ジャスミンのワイン会には今でも参加していきまして、たまに会員の伊藤先生にも付き合っています。昨年そこで知り合ったソムリエからロマネコンティのワイン会の誘いを受けま

した。費用もけっこうしましたが、知り合いの酒屋さんに相談して興味があるならその金額はお値打ちですよと言われ参加しました。ワインを飲むことも楽しみでしたが、どんな人が来てどんな話をするのかということに大変興味を持ちました。ワインが好きだということで日常ではあまり出会わないような人との出会いを経験したような気がします。今後もワインを通じて人との出会いを大切にしていきたいと考えています。興味のある人はぜひ声をかけてください。

ご清聴ありがとうございました。

## 碧南RC会員 奥津 順司君

皆さんこんにちは！私が昨年7月に衣浦グランドホテル着任して、こちらの碧南ロータリークラブに入会以来、楽しく過ごさせていただいております事を、まずは碧南ロータリーの諸先輩に感謝申し上げます。



奥津 順司君

本日は「私の履歴書」と言うことで、あえてご披露するほどの履歴ではございませんが、ちょっと掘り下げた自己紹介の機会を頂きましたので、お聞き苦しいところをご容赦いただき、しばしお付き合いください。

さかのぼる事、今から55年前ですが、なぜわたくしが生まれたかと言うと、当然のこと私の父と母が結婚したからです。当時二人は東京日比谷にあったユニバーサル映画日本支社に父はデザイナーとして、母はOLとして勤務しておりました。

母に終戦直後に何で外資系企業に就職できたのかと尋ねたところ、今なら英語ができなければ合格しないけれど、当時、敵国語なんて誰も勉強していないし、私が美人だったから採用されたとの答えでした。

私の少年期は特に才能もなく、目立たない、暗いタイプだったように思います。

中学生になったとき、身長がそこそこだったのと、手が長いという理由だけでバスケットボール部に入部、3年生の時には神奈川県大会で3位になりましたが、公式戦での通算得点は18点、ただただドリブルでボールを運び、シューターにパスするだけの役割でした。

それでも、神奈川県の実業学校、当時全国大会3位であった相模工大付属高校から声が掛かったので、受験勉強もしないで同校に進学、昭和48年49年2年連続インターハイ全国大会で準優勝しています。

私の父は当時発行部数が100万部をこえていた「週刊平凡パンチ」の表紙デザインを担当するデザイナーで、私を表紙のモデルに使ったことがあり、一緒に載った女性モデルがヌードでグラビアを飾っていたため、停学になりかけたこともありました。

大学は後輩の指導に当たるという事で、相模工大機械工学部に進学、途中でホテル学校に転籍、卒業後はホテル一筋に専念してまいりました。

私はこらえ性がないのか、人格に問題があるのか最初に入社したサンルートホテルシステムに11年間お世話になりましたが、その後は(株)MDIホテル事業部2年、(株)エプコットホテルシステム3年、(株)セリアコーポレーション2年(取締役)、ホテルモンテ(株)6年(執行役員)、(株)ホテルマネジメントインタナショナル5年(取締役)、現在の(株)フィーノホテルズは入社1.5年を経過したところです。

会社だけで7社、担当したホテルの件数は兼務も合わせると30件以上になりますが、業界はホテル一筋に生きてまいりました。

今まで、数多くのホテルを支配人として担当してきましたが、そのマネジメントの基本は高校時代に監督に教えられた事ばかりでした。一流の監督には数々の名言があるので、印象に残っている言葉をいくつかご紹介したいと思います。

・何を行うかではなく、どう行うかが大切。

県内、県外から強いチームがどんな練習をしているのか、見学に来るのですが、同じ練習をすれば同じように強くなるのか？そんなことはない。その練習に何を求めるのか、選手に理解させなければ効果はほとんどないという事。

・高校生にオールラウンドプレーヤーはほとんどいない。全国に通用するプレーを一つでも二つでも持て。

ドリブルだけは全国トップレベル、リバウンドだけは・・・仕事も同じ、スタッフの長所を活かすのは監督の仕事。中途半端なオールラウンドプレーヤーは全国では通用しない。

・練習は客観、試合は主観

練習は己の弱点をクレバーに分析するが、試合の時、監督が負けを認めて勝てるはずはない。恩師は毎年、毎年、「順司、今年はいけるぞ！」と言っていた。

さて、現在お預かりしております衣浦グランドホテルですが、私にとって長いホテルマン人生において、最も楽しい、やりがいのある職場であると感じております。

また、全国津々浦々で働いてきましたが、碧南市に骨を埋めてもいいと思っておりますので、本社にいろいろ理屈をつけても長居する所存です。今後とも皆様のご指導、ご厚情のほどよろしくお願い申し上げます。

取り留めもない話になってしまいましたが、私の人生そのものが取り留めもない「流しのホテルマン」である事に免じ、何卒ご容赦ください。本日はありがとうございました。

**次回例会案内**  
**平成24年2月8日（水）卓話**  
**「電気事業をとりまく、あんな事こんな事 パートII」**  
会員 栗山 章君